

徳島市こども計画(素案)の変更点等について

No.	いただいた意見の概要	市の考え方、計画の変更点
1	「妊娠・出産期」も計画の対象として図に盛り込むべきではないか。	「妊娠・出産期」についても図に記載しました。(素案 4 ページ)
2	こども家庭庁「幼児期までの子どもの育ちに係る基本的なビジョンはじめの 100 か月の育ちビジョン」のなかで、妊娠から小学校 1 年生の途中くらいまでが、だいたい 100 か月で、切れ目のない支援について述べられている。 計画には「保幼小連携事業の推進」も入っているので、この視点を盛り込むべきではないか。	ご意見を踏まえ、「保幼小連携事業の推進」の取組の概要欄の冒頭に「こどもの成長に応じた環境変化が育ちの「切れ目」を生まないよう、幼児教育と小学校教育との「架け橋期」における育ちのビジョンの共有やカリキュラム作成などにより教育の充実を図るとともに、」の一文を追加しました。(素案 34 ページ)
3	子育てに関する情報について、必要な人に情報が届いていない。周知方法について改善が必要だと思われる。	計画全般の取組、施策について、さらなる周知・広報の取組強化や、必要な情報を必要なタイミングで届ける、いわゆる「プッシュ型」の情報提供等についてご意見があったことを踏まえ、「4 こども施策の共通の基盤となる取組、施策の推進体制」の説明部分に、必要なタイミングで届けられるよう、情報発信の改善・強化をする旨を追加しました。(素案 56 ページ)

No.	いただいた意見の概要	市の考え方、計画の変更点
4	シニア世代など、子育て支援に携わりたい人もいると思う。	「4 こども施策の共通の基盤となる取組、施策の推進体制」の説明部分に、それぞれの世代の経験を生かした子育て支援活動への参画を推進する旨記載しました。 (素案 56 ページ)
5	保育施設やこどもも地域の一員であることから、防災の観点から役割を担えないか。	大規模災害への備えは重要であると認識しており、こども計画においても「ライフステージを通じた重要事項 ③こどもの生命を守る取組の推進」において、災害等から安全を確保する施策について記載しています。安全対策を推進していくとともに、関係各課において防災や安全に係る計画を策定・推進することでこどもたちの命を守る取組を進めてまいります。(計画の変更はありません)
6	家庭での子育てに専念できる環境も整えてほしい。	子育て当事者が不安を抱え孤立することのないよう、地域の実情やニーズに応じた子育て支援について、「子育て当事者への支援に関する重要事項 ②地域子育て支援」の項目に記載しています。教育・保育施設における子育て支援だけではなく、家庭における子育てについても支援を推進してまいります。(計画の変更はありません)